

も、それだけでは受からないように

意図的に選考していたのではないかという声が上がっていたためです。

この判決が、今後の入試と大学にどのような変化をもたらすのか、非常に興味深く思っています。

楓之典君乳母草子

（日々是猫日） 其ノ陸

猫の身体―胴・脚・尾の巻

中條 恵子 陸自85

其伏臥時、團圓不見足尾。宛如堀中之玄壁。其行歩時、寂寞不聞音聲。恰如雲上黑龍。

性好道引暗合五禽。常低頭尾著地。而曲聳背脊高二尺許。毛色悅澤盖由是乎。亦能捕夜鼠捷於他猫。

其の伏臥する時、團圓して足尾見えず。宛も堀中の玄壁のごとし。其の行歩する時、寂寞として音聲聞こえず。恰も雲上の黒龍のごとし。

性は道引を好み五禽に暗合す。常に頭を低くし尾を地に著く。而るに背脊を曲聳せば高さ二尺許りなり。毛色は澤蓋の悦しきこと是由るや。亦た能く夜鼠を捕らふること他

猫に捷る。

『寛平御記』

宇多天皇に溺愛され、その姿、たゞずまい、動きをたたえられた猫様ですが、その身体能力の高さと特性は、「年を経て化ける」「人を食う」「尾が二股に分かれる」「踊る」などなど、怪しく恐ろしい説話にもなっています。

● 猫の身体

しなやかな美しさと機能性を併せ持ち、突進や跳躍などの運動能力も高い猫様の身体。尻尾や肉球などの愛らしさは格別ですが、その機能を知るといとは魅力的に見えてまいります。

○ 骨

猫様の骨格は、獅子などの大型ネコ科動物とほぼ同じで、肉食動物特有の運動性や柔軟性に優れた構造となっています。骨の数は、約200本あるヒトより少し多めの240本ほどで、ヒトとは異なる特徴がいくつかあります。

例えば、腰骨がヒトより2本多いために、柔らかく腰をひねることができ、高所からの着地に役立つています。また、肩甲骨が縦方向に通っているため、頭の入る隙間であれば通り抜けることが可能です。小さい

